

「20人権の広場」を開催しました

第29回「人権の広場」を、11月15日(日)午後2時15分より、市文化センター小劇場にて開催しました。

令和2年度岐阜市小・中学生募集「人権に関するポスター」の入賞（最優秀賞、優秀賞）者への表彰式および作品の紹介を行いました。

【作品を朗読する小島さん】



◆◆最優秀賞◆◆
黒野小学校 4年 井戸 響子さん
明郷小学校 4年 小島 かなさん
岐北中学校 2年 日高 胡音さん
◇優秀賞◇
黒野小学校 6年 林 琴子さん
早田小学校 5年 富樫 京梧さん
岐阜中央中学校 1年 杉村 蓮里さん
岐阜中央中学校 3年 廣瀬 京さん



【柴橋市長と記念の1枚】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数を制限するなど様々な対策の中で行いました。講演では、ルポライターの杉山春さんが『～取材を通じて見えてくる児童虐待～作ろう、子どもの人権が大切にされる社会』と題して、この日のためにご自身で撮影されたDVDを上映しました。ご自身の取材などからの経験に基づき、最後に、「子どもの人権を考える上で、親たちが安心して生活できると思える環境になれば子どもたちの悲痛な叫びは聞けない。一人ひとりが社会の中に居場所があるからこそ、いろんな人を大切にできる。どのようにしていくと、安心して生きる居場所ができるかを考えていきたい。」と問いかけられました。

コロナ禍の折でしたが、地域から約100人の参加があり、人権を尊重するまちづくりについて考えるよい機会となりました。参加者の感想を一部紹介します。

- とても引きつけられる内容でした。それぞれの事例で、「子どもがかわいそう」だけでなく、どうして虐待は起きたのかについて追求していくことが、社会や、家族の問題点や危うさが見えてくるとわかりました。私は何ができるのか、安心して過ごせる社会はどうすればできるのかなど、考え続けていきたい。
- 幼い子どもたちが犠牲になったことに大変悲しみを感じました。周囲が助ける環境、助けを求めやすい環境を作ることが大切なのは、私もできるだけ助けをを求める人があれば、進んで手を差し伸べたいと思います。



【講師：杉山 春さん】

